

## 上野尻自治区 町政懇談会 会議録

### 1. 開催日時

平成28年7月15日（金） 午後6時30分～8時40分

### 2. 対象地区・団体

上野尻自治区

### 3. 代表者・参加者

廣瀬渉自治区長ほか18人

### 4. 開催会場

上野尻会館

### 5. 町出席者

町長 伊藤 勝、副町長 伊藤要一郎、参事兼総務課長 新田新也、企画情報課長 大竹 享、健康福祉課長 渡部英樹、建設水道課長 成田信幸、町民税務課長 五十嵐博文、農林振興課長 玉木周司、企画情報課長補佐 小瀧武彦、企画情報課情報政策係長 佐藤泰久、企画情報課副主査 長谷川祐一

### 6. 自治区長あいさつ 廣瀬渉 上野尻自治区長

町政懇談会にお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。自治区の委員会で町政懇談会の開催について話し合った結果、自治区だけでは解決できないことがたくさんありますし、私たちはこれから上野尻で生活していくわけであって、町からの支援をいただきながら、より住みよい自治区にしていきたいということで町政懇談会を開催することになりました。

この委員会の中の話し合いで、自治区の様々な課題についてあげさせてもらい、地域課題として町に提出しました。自治区としては今後一步でも二歩でも前進していきたいと考えておりますので、今日は町から説明をいただきながら、自治区の皆さんには質問等をしていただき、有意義な町政懇談会になりますようよろしくお願いします。

### 7. 町長あいさつ及び町政方針説明

今年度の町政方針、町の地方創生の取り組み、重点事業などを説明。具体的には、人口減少・地域活性化対策の地方創生では、産業活性化と雇用拡大を図るため、菌床きのこ栽培の大規模産地化や、森林資源を活用したオガ粉生産、チップ・ペレットなど木質バイオマス燃料生産などを検討する森林資源活用型新産業づくり計画の策定を進めていること、また、子どもを産み育てやすい環境づくりのため、今年度から出産祝金を第1子目からの支給に拡充するとともに、来年4月の開園に向け認定こども園を整備していることなどを説明。

交流人口の拡大では、道の駅にしあいつ内の地域連携販売力強化施設「ミネラル野菜の家」（8月2日オープン）について、さらに、国際芸術村事業や、地域おこし協力隊の活動による誘客、移住・定住推進の取り組みについて、また、生活環境整備では、国道49号睦合地区からのトンネル化による代替路整備「会津防災事業」の早期着工に向けた町の取り組み、町縦貫道路の整備促進などについて説明。

## 8. 事業説明

家庭ごみの分け方・出し方について、資料により五十嵐町民税務課長が説明。

## 9. 地域課題等について

自治区から事前に提出された地域課題等に対して、それぞれ担当課長より回答。内容は別紙のとおり。

## 10. 意見交換等

### [質問等]

自治区内では、毎朝、80代の一人暮らしの高齢者が、除雪車が置いていった（残していった）雪を片づけている状況です。これは大変な作業です。しっかり雪が無くなるような除雪対応をお願いしたい。自宅前には雪を捨てておくスペースもない状況です。

### [町]

除雪オペレーターにはできるだけ家の前に雪を置かないように依頼し、除雪を行ってもらっていますが、全部の雪を押しきるということは技術的にも困難なことで、どうしても雪を置いていってしまうことがあるかと思えます。このため、毎日雪が降り続く時など、消雪パイプが有効ですが、上野尻南側エリアでは諸条件によって井戸の必要水量を確保することができませんでした。このため、何とか除雪により対応したいと思えます。

特に上野尻の場合は、家屋が連たんしており、雪の捨て場が無いことから、県でもそういった状況から、年に何度かダンプを使った除排雪作業を行っていますが、なかなか追いつかないという状況です。このため冬は、本当に大変だと思えますが、地域での助け合いをお願いしながら、公の立場としては、しっかり除雪を行っていきたいと考えておりますのでよろしくをお願いしたいと思えます。

### [質問等]

今年の冬は雪が少なかったが、通常だと雪を置くところが無いほどで、だからやむを得ず道路に出しておくという状況です。雪を持っていくような排雪対応をもっと頻繁に行ってもらえないのでしょうか。また、消雪パイプ導入の可能性はあるのでしょうか。消雪パイプが設置されれば非常にありがたいです。

### [町]

上野尻地域は消雪パイプが有効であり、町道と同じように県道にも消雪パイプを設置するため、県では数カ所井戸を掘りましたが水が出ないという結果でした。町では、県に対し機会あるごとに上野尻の消雪について早期の対応を要望しており、県の回答としては、もう一度調査を行うということになっています。また、水を別の場所から引いてくるといったような工法について可能かどうか検討することになっています。

除雪については、高齢化等に伴い町全体で同じようなことが問題になっています。また、高齢者宅や空き家の除排雪といった大きな課題が出てきています。こうした課題に対して除雪の作業の改善と、もう一つ、地域で連携してそういった人たちに対する助け合いの対応をとっていただく必要があると思えます。町としては、町道については、問題点については、県に伝え、要望していきたいと思えます。

**[質問等]**

町の公共施設について、旧群岡中の体育館のトイレ施設ですが、改修する考えはないでしょうか。それから、公共施設借用時に群岡の施設でも野沢まで申請に行かなければならない状況です。群岡診療所窓口での手続き（申請受付）に改善できないでしょうか。

**[町]**

公共施設の使用申請手続きについては、野沢まで行かなくても群岡で行える方法に改善したいと思います。具体的には保健センター、旧群岡中、旧群岡中体育館、旧群岡中グラウンドの申請書類を群岡診療所に置くよう早急に手配します。

旧群岡中体育館のトイレ改修については、施設（社会体育施設）を所管する教育委員会に確認して改修すべきものであれば町としても十分検討させていただきたいと思います。

**[質問等]**

先日、滝坂地すべりの現地見学を行った際、トンネルからきれいな水がどんどん流れていました。これを利活用することはできないのでしょうか。

**[町]**

今後永久にきれいな水が出続けるかどうかは分かりませんが、もったいないので、何かに利活用したいと考えています。過去には水質を調べてもらったことがあり、飲料水にも使えるほどとのことで、工事を進める阿賀野川河川事務所でも検討してみたいと話しています。

**[質問等]**

大沼の浚渫（しゅんせつ）工事について、平成 29 年度から調査事業に着手するという話がありましたが、そういうスケジュールで進めることになっていると理解していいのでしょうか。

**[町]**

調査事業については県にお願いしています。この調査事業は、全て県の事業費負担で行うことになり、確実に平成 29 年度に実施するという県からの回答は得ていない状況です。このため県の予算編成に向けて町土地改良区より要望をしているところです。

事業にあたっては、受益者全員及び町土地改良区の事業実施に向けた意思表示がなければ町としても実施することはできませんので、地元関係者で十分話し合い、合意が図られるよう対応をお願いします。

**[質問等]**

浚渫工事により発生する土砂利用については、今後の課題として自治区でも検討していきたいと思います。

**[質問等]**

国道 49 号高架下のボックス幅に関して、大型機械が通行できないため、農業だけでなく、木材の搬出もできない状況です。国への働きかけをお願いしたいと思います。

これに代わる方法として、国道から稲荷神社側に直接下りる新たな道路を作る方法、また須刈岳への登山道を途中まで利用する方法も考えられますので、検討をお願いしたいと思います。

[町]

後で、現地を確認したいと思います。

[質問等]

町では、ホームヘルパーは足りている状況ですか。時間給制で、ガソリン代が出ないとお聞きしました。待遇が悪いとやめてしまう人がいるのではないのでしょうか。待遇改善が必要ではないかと思っています。

[町]

登録ヘルパー制度を導入していますので、利用者の希望に応えられる人数になっていると捉えています。

現在、にしあいつ福祉会がホームヘルプサービス事業を実施しており、基本的には国からの介護保険の事業費の中でヘルパーの給料を支払っています。今後、介護職全体の待遇改善について、にしあいつ福祉会と話し合いながら進めていきたいと考えておりますのでご理解ください。